

他では見られない、味わえない!
加茂ならではの食

No.1 紅ズワイガニ
加茂地区にあるカニ専門の販売所です。加茂港で水揚げし、浜ゆでした紅ズワイガニを直売しています。(協和丸:☎0235-33-3835)



No.2 クラゲアイス
クラゲが人気の加茂水族館①で提供するメニューです。このほか、クラゲ定食やクラゲラーメンもあります。一度試してみたいはいかがですか。



No.3 岩ガキ
庄内浜のものは夏ガキとも呼ばれ、6月から8月中旬までの真夏が旬という変わり種です。岩ガキは殻を割ると、身はぷっくりと大きく、口に含むと清々しい磯の香りが口いっぱい広がる、旬の醍醐味!真夏の至福です。



No.4 美好食堂
地区内唯一の食堂で、加茂水産高校前にあります。(☎0235-33-4173)



ゆかりの人物

土屋友治
明治当時、港に停泊する汽船やしげの海運の賑わいに刺激されて船員を目指し、「白瀬南極探検隊」の一員として活躍しました。204トンという小さな観測船を操作し、南極の海に挑みました。加茂水産高校の前庭に胸像があります。(M.11~S.6)



尾形六郎兵衛
青少年期に千島漁業開拓者の父が急死したため、水産業の家業を継ぎ、樺太、千島、北海道の各地に水産会社を創設しました。戦後第1回参議院地方選挙に当選、県漁業協同組合連合会会長の要職にも就きました。晩年は文筆活動に専念しました。(M.34~S.48)



加茂まで行くには
加茂ってどんなところ?

鶴岡市加茂は古くから天然の良港として広く知られていました。江戸期には、北前船の中継港として発展し、酒田に次ぐ海上交通の要衝として栄えましたが、羽越線開通後は商港としての役割を終え、漁業中心の港として現在に至っています。
港を囲む小高い山には神社仏閣が数多く点在するほか、商港時代の名残を感じさせる蔵や邸宅、民家、狭い路地など、港町としての風情が今でも数多く残っています。
地区内には「加茂レインボービーチ」や「市立加茂水族館」のほか「県水産試験場」や「県立加茂水産高校」があり、海洋研究・海洋教育の拠点となっています。
古い町並みや美しい風景の残る加茂地区は、大山地区や羽黒地区とともに、県の**庄内景観回廊**の指定を受けています。



【交通】
鉄道 JR羽越本線「鶴岡駅」からタクシー(約20分)もしくはバス乗り換え最寄は「羽前大山駅」からタクシー(約10分)
バス 「鶴岡駅前」から「加茂経由湯野浜温泉行き」または「油戸行き」(約30~40分)
空路 庄内空港からタクシー(約20分)バスの場合「鶴岡駅前行き」から「鶴岡駅前」で乗換え
道路 日本海東北自動車道「鶴岡西IC」又は山形自動車道「鶴岡IC」から国道7号及び112号を經由(約15~20分)

駐車場 **P**は、加茂レインボービーチ(海水浴シーズンは有料)、加茂コミセンをご利用ください。

庄内景観回廊

いにしへの港町

加茂そぞろ歩き

企画 鶴岡市加茂地区自治振興会
問い合わせ先 0235-33-3023
協力 東北公益文科大学
後援 庄内開発協議会
この地域資源マップは東北公益文科大学の学生と加茂地区の皆さんが協働して作成しました。

H24.3作成

加茂に来たならまずはここ!
近くにあるこんなところ

No.1 高館山(標高274m)
ブナ・ナラなどの落葉広葉樹林や豊富な動植物に恵まれています。遊歩道が整備され、ハイキングやバードウォッチングの場としても人気で、山頂の展望台から望む海側の風景も格別です。麓の上池・下池はラムサール条約登録湿地で、夏には水面一面をハスの花々が彩ります。(頂上のテレビ塔が目印です。)



No.2 湯野浜温泉
加茂の北約3kmにあり、日本海を臨む温泉地で、ホテルや旅館が20軒ほど並びます。泉質は、ナトリウム・カルシウムの塩化物泉です。写真奥には、霊峰鳥海山が見えます。(湯野浜温泉協会:☎0235-75-2258)



No.3 旧加茂坂トンネル
加茂地区と鶴岡中心部を結ぶ加茂坂越えは、明治初期に鉄門海上人と鉄竜海上人(今は即身仏として安置される)が切り開き、その後、明治半ばから昭和初期に加茂隧道が掘られました。バイパスが完成した現在は現役を退き、閉鎖されていますが、隧道の前後には、故人を顕彰する碑や工事の慰霊碑が残っているほか、四方守護神のうち青龍(西)と白虎(東)の石像があるといわれました。



No.4 荒埼灯台
加茂水族館①脇にあり、白亜円形の小型灯台で、日本海や鳥海山が望まれる風光明媚な絶景ポイントです。デートスポット♥としても人気があったりして...



No.5 加茂レインボービーチ
人工の磯場と砂場が整備された海水浴場ですが、磯遊びには履き物が必需品です。車で海水浴場の目の前まで進入可能で、夏の海水浴シーズンの駐車料は800円/台です。



冬の華
北西からの冬の季節風の強い日には、磯場の沿岸では荒波にもまれた「波の華」が見られます。「地ふぎき」とともに庄内地方特有の冬の名物といえます。

砂定寺の厄除け豆まき大折構会
2月16日に行われる砂定寺⑨の祭事で、1年の無病息災や招福を願います。ヤク1年の無病息災や招福を願います。ヤク1年を齎して自分の身に当て、諸厄を散前福弥生の御利益を得ようと参詣者で賑わいます。

釣り
8月の終り頃からは秋の小物釣りのシーズンで、港内には親子連れで賑わいます。アジ、サバ、シロダイ、クロなど魚種も豊富です。秋の終り頃から磯場には、黒鯛を狙う多くの大太望が繰り出し、釣り糸を垂らす釣り人の風景は庄内の風物詩になっています。

芋煮会
秋の山形は、至るところで芋煮会が盛り上がり、加茂レインボービーチ周辺でも、週末は家族連れで賑わいます。(庄内地方は豚肉、内陸地方は牛肉仕立てが特徴)

夕陽
夏の日本海は夕陽がきれいで、その中でも加茂地区は、海岸線に沈む夕陽だけでなく、夕陽に映える港や町並みも絶景です。荒埼灯台から見る夕陽は特にオスエです。

加茂港大漁7エス7イベント
加茂水産高校などと協力して、隔年の7月中旬に開催しています。大型船の公開、地元漁船やアジサシやボートの試乗、海産物の販売、貝のつかみ採りなどが賑やかに行われる一大イベントです。

春日神社例大祭
5月18日の春日神社⑩のお祭りです。湯黒地区に神宿(トキ)を設け、露店も並びます。神輿を担ぎ、神社の石段を颯と駆け上る場面は見応えがあります。

桜並木
小高い山の中腹にある加茂の桜は、その向こうに海が望まれ、一風変わった眺望が楽しめます。浄蓮寺⑧のしだれ桜も必見です。(4月下旬頃が見頃)

まちを見守る
加茂周辺のお寺&神社

- 1 本獄山 海印寺(曹洞宗)**
宝暦9(1758)年、秋野茂右衛門家が加茂に定住して菩提寺を建立しました。鶴岡市馬町の正法寺二世・傑山空広和尚を勧請して海印寺が開山しました。本寺は正法寺です。
- 2 明石山 龍宮寺(天台宗)**
創立は天安2(858)年、開山・開基は慈覚大師です。本寺は滋賀県大津市の延暦寺で、庄内33観音霊場の25番札所となっています。地元では「明石様」の名で親しまれています。
- 3 不退山 安養寺(浄土宗)**
京都・知恩院の高弟善誉英公上人が創建といわれています。寛政7(1795)年に焼失し文化4(1807)年に再建されています。それ以前も2回火災がありました。
- 4 熊耳山 少林寺(曹洞宗)**
元和9(1623)年の創立です。達磨大師を本尊として安置しており、達磨大師とゆかりがある中国の少林寺と寺号を同じくし、全国的に曹洞宗寺院としては異色です。境内は960坪あり、山門は大海を航海したと思われる大きな船柱や板をそのまま使用して造成されています。本寺は鶴岡市下川の善宝寺です。
- 5 華蔵山 白蓮寺(曹洞宗)**
寛永19(1642)年に開山されました。今の場所に移ったのは約130年前ですが、昔は、現在の加茂郵便局の近くに建てていたと言われています。
- 6 八満山 妙定寺(日蓮宗)**
昭和4(1929)年に日蓮宗徒・守山妙定尼がこの地に草庵を建てました。修行中の妙定尼に守護神・明石大明神より、日蓮聖人が竜の口の法難に遭い、佐渡の国に流罪の途中、角田の浜で七つ頭の大蛇を退治した故事にちなんで、「厄除けの豆まきを始めよ」というお告げがあり、それ以来、毎年2月16日に行われる「妙法厄除豆まき」の寺として知られています。
- 7 光明山 極楽寺(曹洞宗)**
創建は建久年間(1190~1198)です。寛政年間(1789~1800)に鶴岡市の善宝寺の第26世大雲和尚の時に曹洞宗に改宗し同寺の末寺となります。昭和初期に裏山から出土した宝篋(ほうきょう)印塔は県の有形文化財に指定されています。
- 8 西栄山 浄禅寺(浄土真宗)**
文明6(1474)年浄土真宗第8世中興蓮如上人の弟子・寂蔵坊が越前吉崎(福井県)より聖徳太子尊像を与えられて加茂の浦に着き、高館山の麓の通称・東山に草庵を結び「寂蔵寺」と称しました。寛文12(1672)年、本願寺の寂如法主より「浄禅寺」の寺号を賜りました。詩人・茨木のり子の菩提寺です。
- 9 海聚山 常福寺(日蓮宗)**
慶長5(1600)年の創立で、京都・本園寺の末寺です。文久元(1861)年の類焼により本堂や寺宝など焼失し、大正13年に本堂、庫裡を再建復興されました。平成9年に檀徒会館「たちばな」が完成しています。
- 10 熊野神社**
加茂字加茂1番地にあり、文治3年(1187)出雲国八束郡熊野村より御分霊を勧請しました。明治9年2月24日には村社に列し、毎年8月15日に祭事を行います。
- 11 春日神社**
創建年代不詳ですが、社伝によれば清和天皇の御宇貞観7年(865)大和国奈良春日神社より勧請し、春日大明神と称したと云われています。

加茂のまち歩きマップ

1 鶴岡市立加茂水族館
クラゲの専用展示室の「クラネタリウム」は、展示種類世界一を誇ります。
[入館料:大人800円]
H26リニューアルオープン予定。
(加茂水族館:0235-33-3036)

2 船印入りの船蔵
漁具類を納めた船蔵にあるマルトリ印は、展示種類世界一を誇ります。
[入館料:大人800円]
H26リニューアルオープン予定。
(加茂水族館:0235-33-3036)

3 港周辺の石垣づくり
明治期の港湾づくりの名残で、海近くにある石垣は珍しいといわれます。今でも十分に役立っています。

4 秋野邸
酒田の本間家に次ぐ庄内(庄内)の大地主といわれた秋野家の邸宅です。

5 尾形家別館「聴涛館」
加茂には珍しい洋風建築物で、鶴岡市都市景観賞を受賞しています。

6 町なかの隠れた小路
土地の狭い加茂での生活から生まれた加茂ならではの幅の狭い通りが随所にあります。

7 土蔵の通気孔
地元の石切山で採れた加茂石で造られた家紋入りの通気孔は、加茂でも珍しいものです。

8 共同利用の井戸
山が近い土地柄から、共同生活用水の井戸が点在します。今でも使えるものもあります。

9 熊野神社 10 から見下ろす風景
ここから眺める加茂港は特に絶景です。黒瓦の屋根とのコントラストは、一見の価値があります。

10 石名坂邸
純和風の建築物で、登録有形文化財(文化庁)に指定されています。

11 蔵屋敷
北前船などとの交易で、米・酒・海産物などを保管した火災に強い土蔵づくりの倉庫です。

12 間口の狭い家なみ
昔、家の間口の広さに課税された名残で、間口が狭く、奥に細長い民家が連なっています。

※駐車場 **P** は、加茂レインボービーチ(海水浴シーズンは有料)、加茂コミュニティセンターをご利用ください。